

淵野辺駅南口周辺まちづくり事業
(鹿沼公園・複合施設整備運営)

落札者決定基準

令和8年4月24日

相模原市

目 次

| | |
|------------------|----|
| 1 本書の位置づけ | 1 |
| 2 審査の概要 | 1 |
| 3 審査の体制 | 1 |
| 4 審査の手順 | 2 |
| 5 審査結果の公表 | 2 |
| 6 審査の方法 | 3 |
| (1) 参加資格確認 | 3 |
| (2) 提案審査 | 3 |
| 7 最優秀提案の選定 | 13 |
| 8 落札者の決定 | 13 |
| 9 その他 | 13 |

1 本書の位置づけ

淵野辺駅南口周辺まちづくり事業（鹿沼公園・複合施設整備運営） 落札者決定基準（以下「本書」という。）は、相模原市（以下「本市」という。）が淵野辺駅南口周辺まちづくり事業（鹿沼公園・複合施設整備運営）（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の募集・選定を行うに当たり、入札参加者に交付する入札説明書と一体のものである。

本書は、落札者を決定するに当たって、最も優れた提案者を選定するための方法及び手順、評価基準等を示したものである。

なお、本書に使用する用語の定義は、入札説明書において使用される用語と同一のものである。

2 審査の概要

事業者の選定は、入札参加資格の確認（以下「参加資格確認」という。）及び提案審査書類の審査（以下「提案審査」という。）により行う。

提案審査は、本市が設置した「淵野辺駅南口周辺まちづくり事業(鹿沼公園・複合施設整備運営)事業者等選定委員会」（以下「選定委員会」という。）が入札参加者の提案審査書類を定性的に審査する定性審査と入札価格による価格審査により行う。

選定委員会は、定性審査及び価格審査の結果から、総合評価点を算出し、最優秀提案者を選定する。

本市は、選定委員会による選定結果を踏まえ、落札者を決定する。

3 審査の体制

提案審査のうち、定性審査及び価格審査を行う選定委員会の委員は下表に示すとおりである。

表 3-1 選定委員会 委員一覧

| | 氏名 | 所属等 |
|-----|--------|-----------------------------------|
| 委員 | 伊藤 真木子 | 青山学院大学 コミュニティ人間科学部 コミュニティ人間科学科 教授 |
| 委員 | 押田 佳子 | 日本大学 理工学部 まちづくり工学科 准教授 |
| 委員 | 野口 直人 | 東海大学 建築都市学部 建築学科 講師 |
| 委員 | 萩原 建次郎 | 駒澤大学 総合教育研究部 教職課程部門 教授 |
| 委員 | 守泉 誠 | 公認会計士 |
| 委員長 | 山口 直也 | 青山学院大学 大学院会計プロフェッション研究科 教授 |

※ 所属等は、令和8年3月31日時点の情報に基づく。（五十音順・敬称略）

4 審査の手順

審査の手順は、以下のとおりである。

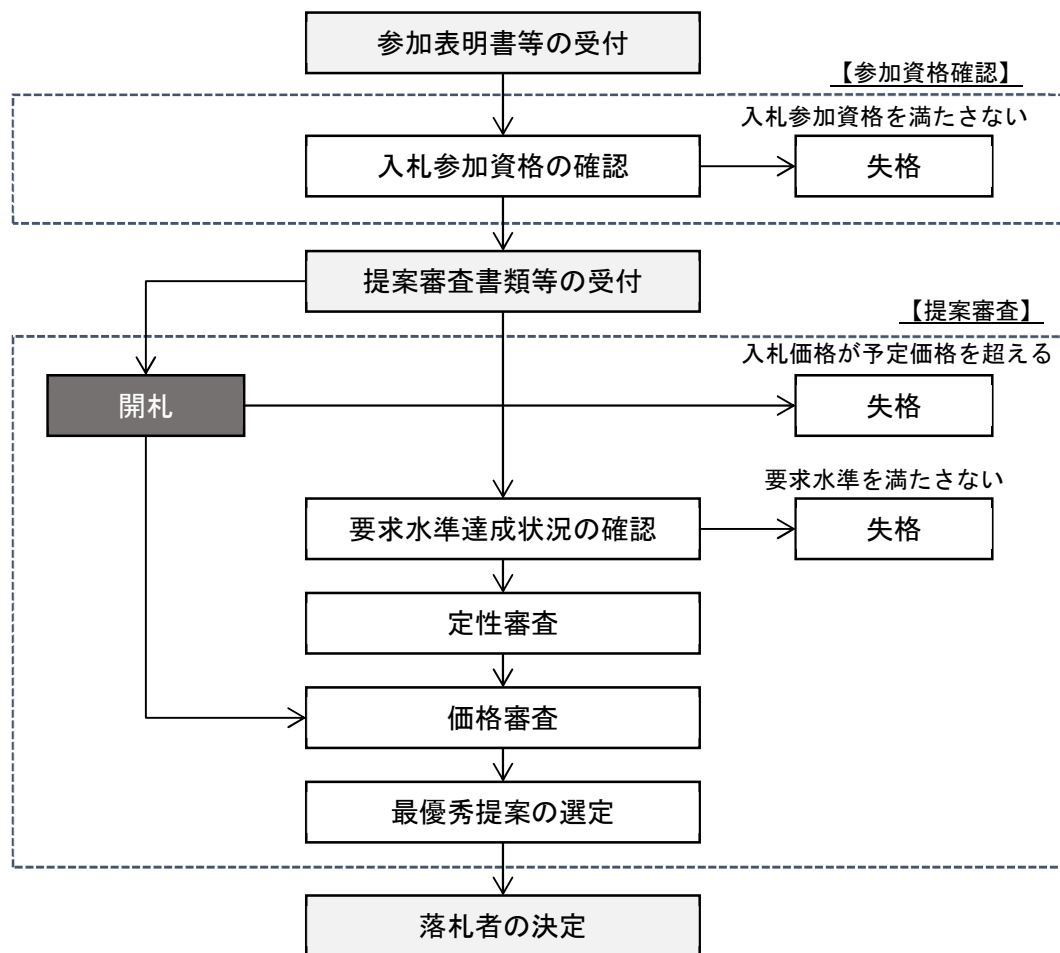


図 4-1 審査の手順

5 審査結果の公表

参加資格審査の結果は、各入札参加者に個別に通知する。

提案審査の結果及び評価は、本市ホームページを通じて公表する。

6 審査の方法

(1) 参加資格確認

本市は、参加表明書等とともに提出された入札参加資格確認書類をもとに、入札参加者の構成員が入札説明書に示す参加資格要件を満たしていることを確認する。

入札参加資格を満たしていない場合は、失格とする。

なお、入札参加資格確認書類の内容は、提案審査における評価には反映させないこととする。

(2) 提案審査

ア 入札価格の確認

本市は、入札書に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを確認する。

入札価格が予定価格を超える場合は、失格とする。

イ 要求水準の達成状況の確認

本市は、提案審査書類の内容について、要求水準の明らかな未達がないこと、入札説明書等で求める内容を満たしていること等を確認する。基準を満たしていない項目がある場合は、失格とする。

ウ 定性審査及び価格審査

定性審査及び価格審査の配点は、下表に示すとおりとし、定性評価点は280点、価格評価点は120点を満点とする。

表 6-1 定性審査及び価格審査の配点

| 提案審査内容 | | 配点 | |
|-----------------|--------------------|-----|-----|
| 定性審査 (定性評価点) | 事業全般に関する事項 | 48 | 280 |
| | 施設計画に関する事項 | 100 | |
| | 施設整備関連業務に関する事項 | 20 | |
| | 開業準備に関する事項 | 4 | |
| | 維持管理に関する事項 | 32 | |
| | 運営に関する事項 | 64 | |
| | 事業期間終了時の引継ぎ等に関する事項 | 4 | |
| | 自主事業、事業者提案施設に関する事項 | 8 | |
| 価格審査 (価格評価点) | | 120 | 120 |
| 合計 (総合評価点) | | 400 | 400 |

(ア) 定性審査

選定委員会は、提案審査書類の内容に対して、表 6-3 に示す評価項目ごとに評価を行って評価点を算出し、その合計を定性評価点として採用する。評価項目ごとの評価点は、各評価項目に設定された配点に、表 6-2 に示す評価ランクに応じた係数を乗じて得点化した各委員の得点の平均値を、当該評価項目の評価点として採用する。

評価点の計算にあたり、小数点以下がある場合は、第 3 位を四捨五入するものとする。

なお、審査の結果、提案内容が要求水準を達成していないと判断できる提案がある場合は、評価点を算出せず、定性評価の評価点は付けないものとする。

表 6-2 評価ランク及び係数

| 評価 | 評価基準 | 得点化の係数 |
|----|---------------|--------|
| A | 非常に優れている | 1.00 |
| B | AとCの中間程度である | 0.75 |
| C | 優れている | 0.50 |
| D | CとEの中間程度である | 0.25 |
| E | 要求水準を満たす程度である | 0.00 |

各評価項目に対する評価は、表 6-3 に示す評価の視点に基づいて行う。

ただし、これらの評価の視点は、各評価項目に対する主要な評価の視点を示すものであり、異なる視点から効果的で優れた提案であると評価される提案がある場合には、これを踏まえた評価を行う。

表 6-3 評価項目及び配点

| 評価項目（提案項目） | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|-----------------|--|----|-----------------|
| 1. 事業全般に関する事項 | | 48 | |
| 事業の取組方針、基本的な考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目的を適切に理解し、コンセプトを実現するために有効な方針・考え方が提案されているか。 ・ 本事業は「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン」の第1ステップとして位置づけられていることを踏まえ、淵野辺駅南口周辺のまちづくり、地域の課題解決に資する取組方針が示されているか。 ・ 社会教育及び生涯学習のための公共施設を含む事業であることを十分に理解した事業の取組方針となっているか。 ・ 事業期間中のニーズへの変化に対応できる事業実施上の工夫や運営上の工夫が提案されているか。 | 8 | VII-1-1 |
| 事業実施体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を安定的・継続的・効率的に実施することができる役割分担、責任分担、補完体制が提案されているか。 ・ 本市と適切に連携し、本市との意思疎通、情報共有等が適切に実施できる業務実施体制が提案されているか。 | 8 | VII-1-2 |
| リスク管理方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業におけるリスクを具体的に把握し、当該リスクが顕在化した場合に有効な対応方法等が提案されているか。 ・ リスクの最小化・最適化するリスク管理体制が提案されているか。 | 8 | VII-1-3 |
| 施設及び機能の連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設や機能が連携し、複合施設及び鹿沼公園のコンセプトを実現する有効な方策・取組が提案されているか。 ・ 本市が本施設を利用して実施する社会教育や生涯学習の取組に対して、効果的な連携・協力の取組が提案されているか。 ・ 施設の魅力向上につながる有効な取組が提案されているか。 | 4 | VII-1-4 |
| 資金調達・収支計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当性・実現性のある資金調達方法が提案されているか。 ・ 提案内容と整合しており、妥当性・実現性のある収支計画が提案されているか。 ・ 不測の事態による資金不足の対応方策等、安定的かつ継続的な事業運営のための事業収支計画が提案されているか。 | 8 | VII-1-5 ・ IX |
| セルフモニタリング実施方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的かつ効率的で実現性のあるセルフモニタリングの実施方針が提案されているか。 ・ 要求水準の未達や未達の懸念がある事象が確認された場合に、速やかに改善が期待できる仕組みや方策が提案されているか。 | 8 | VII-1-6 |

| 評価項目（提案項目） | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|---------------|---|-----|---------|
| 地域活性化への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の各段階において、市内企業の活用や地元雇用等、地域経済への貢献等について、具体的で有効な方策が提案されているか。 ・「さがみはら津久井産材」を積極的に活用する等、地域資源を活用する具体的で有効な方策が提案されているか。 ・社会教育及び生涯学習促進の観点から、地域の活性化に寄与する有効な取組が提案されているか。 | 4 | VII-1-7 |
| 2. 施設計画に関する事項 | | 100 | |
| 施設計画の基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の目的や特性を踏まえ、複合施設及び鹿沼公園のコンセプトの実現、まちの将来像「人・活動・居場所がゆるやかにつながる 図書館と公園のあるちょうどいいまち 淵野辺」の実現につながる基本方針が提案されているか。 | 4 | VII-2-1 |
| 配置計画、動線計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各公園施設へのアクセス性に配慮し、回遊性の向上、にぎわい創出が期待できる計画が提案されているか。 ・主要園路や外周園路の機能性、鹿沼公園の各ゾーン間の連携、複合施設と公園の連携が期待できる魅力ある配置計画となっているか。 ・鹿沼公園周辺の住宅等に配慮し、騒音や振動による影響を低減するとともに、緑豊かで暮らしやすい住環境を維持できる計画が提案されているか。 | 4 | VII-2-2 |
| 意匠・景観計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・白鳥池及び築山など、昔から変わらない風景を生かしながら新たな魅力を融合する「次世代に引き継がれる持続可能な地区」淵野辺のまちにふさわしい公園の計画が提案されているか。 ・複合施設は、公園内の丘のように捉え、他の公園施設と一体感や連続性があり、緑豊かな公園の環境・景観と調和したデザインであるとともに、淵野辺のランドマークにふさわしいデザインが提案されているか。 | 4 | VII-2-3 |
| 環境への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの徹底、温室効果ガスの排出抑制、廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進、廃棄物の適正処理に努めるとともに、さがみはら津久井産材の使用や再生可能エネルギーの導入等、環境負荷低減や環境保全に資する複合施設及び公園の計画が提案されているか。 ・利用者の健康への影響に配慮した計画が提案されているか。 | 4 | VII-2-4 |
| 防災・安全性への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に、利用者の安全性を確保し、風水害時避難場所や災害対策活動拠点、広域避難場所として活用することを前提に、必要な機能を維持・継続することができる計画が提案されているか。 ・様々な人々が多数利用する施設であることから、利用者が安心かつ安全に利用できる具体的で効果的な仕組みや工夫が提案されているか。 ・防犯性に十分配慮された施設の計画が提案されているか。 | 4 | VII-2-5 |

| 評価項目（提案項目） | | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|------------|------------------|---|----|---------|
| | サイン計画・ユニバーサルデザイン | <ul style="list-style-type: none"> 子どもや高齢者、障がい者、外国人等、多様な利用者に配慮し、分かりやすく視認性に優れ、複合施設及び鹿沼公園全体で一体感・統一感のあるサイン計画・情報伝達手段が提案されているか。 子どもから高齢者、車椅子利用者や視覚・聴覚障がい者等、多様な利用者が分け隔てなく、円滑かつ快適に利用することができる配慮が提案されているか。 | 4 | VII-2-6 |
| | 複合施設に関する計画 | | | |
| | 建築計画・諸室計画 | | | |
| | 施設全般 | <ul style="list-style-type: none"> 複合化による建設コストや維持管理コストの削減につながる効率的で柔軟な施設、機能性を重視したレイアウト、利便性が高い計画が提案されているか。 にぎわい空間、活動空間、静かな空間が適切に配置され、利用者に分かりやすく使いやすい計画が提案されているか。 | 4 | VII-2-7 |
| | 市民利用スペース | <ul style="list-style-type: none"> フリースペースは、窓口の待合スペースとして適切に機能するとともに、誰もが気兼ねなく過ごすことができるスペースとして機能する計画が提案されているか。 貸室は、用途に応じて適切に防音や音響設備の設置、プライバシーへの配慮を行い、様々な活動が可能な計画が提案されているか。 多目的ホールは、市民が気軽に発表できる場として、基本的な機能を有し、使いやすさに配慮した施設・設備の計画となっているか。 子どものためのスペースは、子どもたちの安全を確保し、安心して活動できるスペースとして計画されているか。 | 8 | VII-2-8 |
| | 図書館 | <ul style="list-style-type: none"> 図書館が複合施設の各施設をつなぐ役割を担い、複合施設全体として、新たな学びや想像が生まれることが期待できる施設が提案されているか。 ティーンズのエリアは、対象世代の居場所として気軽に立ち寄れる親しみやすい空間として提案されているか。 子どもの本のエリアは、利用者のニーズにあわせ、にぎやかさのエリアと静かさの求められるエリアの棲み分けが可能な空間として提案されているか。 図書館の限られたスペースに各機能・室を効果的に配置し、利用者の利便性、快適性、安全性を十分に確保したものとなっているか。 維持管理や運営の面から、図書館職員が活動しやすい施設が提案されているか。 | 12 | VII-2-9 |

| 評価項目（提案項目） | | | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|------------|--|----------------------|---|----|----------|
| | | その他の諸室、共用部・バックヤード | <ul style="list-style-type: none"> ・その他の諸室、共用部・バックヤードについて、利用用途を踏まえた、利用しやすい施設が提案されているか。 ・授乳（搾乳）室は、使いやすく、安心・安全に利用できる設置位置、設え、備品の設置等、利用者に配慮した計画が提案されているか。 ・まちづくりセンター窓口は、本市の窓口サービス機能を提供する施設として、多くの利用者に使いやすく、プライバシーにも十分配慮された空間が提案されているか。 ・各事務室は、本市職員等がそれぞれの業務の特性に応じて、効率的かつ快適に執務ができるように配慮されているか。 | 8 | VII-2-10 |
| | | 設備計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスを容易に行うことができるとともに、将来の更新等を考慮した計画が示されているか。 ・ランニングコストの低減に資する設備計画が提案されているか。 ・環境負荷の低減に資する設備の導入が提案されているか。 | 4 | VII-2-11 |
| | | 屋上公園エリアの計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋上公園エリアは、公園として魅力ある空間として計画されているか。 ・地上部から屋上公園エリアへのアクセスは容易で、公園との連続感や一体感、複合施設との連続性や一体感を感じさせる計画となっているか。 ・屋上公園エリアの緑化は、持続可能な緑化の提案がなされているか。また、緑化の多面的な効果も期待できる提案となっているか。 ・維持管理コスト低減に資する計画が提案されているか。 | 4 | VII-2-12 |
| | | 鹿沼公園に関する計画 | | | |
| | | 公園施設計画 | | | |
| | | 遊びのゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ・児童交通公園は、楽しく遊びながら交通ルールを学ぶことができる工夫が具体的に提案されているか。 ・遊具広場は、子どもたちの年齢に合わせ、安全かつ安心して利用できる遊具が提案されているか。 ・保存機関車は、魅力向上、愛着や親近感が湧く展示方法が提案されているか。 | 8 | VII-2-13 |
| | | 池と緑のゾーン・多世代健康スポーツゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ・本市の史跡に登録され、巨人でいらぼっち伝説が伝わる白鳥池や、築山、樹林地の景観性・魅力向上に資するリニューアル計画が提案されているか。 ・テニスコートは、快適にプレーできる環境であるとともに、周辺への騒音の抑制など、影響を緩和する提案が示されているか。 ・多世代向け健康スポーツ施設は、多世代が安全・安心して楽しめる遊具等の設置が提案されているか。 | 4 | VII-2-14 |

| 評価項目（提案項目） | | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|-----------------------------------|----------------------------|--|----|------------------|
| | 憩いと交流のゾーン・複合施設ゾーン・ウェルカムゲート | <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設ゾーンと憩いと交流のゾーンとのつながりを意識した計画となっているか。 ・芝生広場は、子どもから高齢者まで、集い、自由な楽しみ方ができる憩いの場とする計画が提案されているか。 ・多目的広場は、憩いやレクリエーション活動、イベント開催、災害時の活用等、様々な用途に利用できる計画が提案されているか。 ・複合施設の周辺は、中間領域として複合施設と公園とのつながりや相互利用に十分配慮されたエリアとして提案されているか。 ・ウェルカムゲートは、淵野辺駅から認識しやすく、正面口にふさわしい優れたデザインが提案されているか。 | 4 | VII-2-15 |
| | 駐車場ゾーン及び臨時駐車場 | <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や車両が安全に利用でき、使いやすい車室や車路の配置が提案されているか。 ・周辺の交差点や交通量等に考慮し、周辺道路の渋滞発生等への影響に配慮した出入口の位置、形状等が計画されているか。 ・将来の駐車場の有料化に対し、追加整備の容易さや追加費用の抑制に配慮された提案となっているか。 ・臨時駐車場は利用しやすい位置、場所に計画され、安全性にも配慮された提案になっているか。 | 4 | VII-2-16 |
| | 植栽計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・老木や巨木の伐木・抜根や植え替え、新たな植樹などにより、現在の鹿沼公園の樹木の課題を改善し、将来の魅力ある景観形成にも配慮した植栽の計画となっているか。 | 8 | VII-2-17 |
| | 公園管理事務所整備計画・設備計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園管理事務所は、児童交通公園の管理事務所として機能するとともに、各公園施設を適切に維持管理するための工夫が提案されているか。 | 4 | VII-2-18 |
| | 設備計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスを容易に行うことができるとともに、将来の更新等を考慮した計画が示されているか。 ・ランニングコストの低減に資する設備計画が提案されているか。 ・環境負荷の低減に資する設備の導入が提案されているか。 | 4 | VII-2-19 |
| 3. 施設整備関連業務（設計、建設、工事監理の各業務）に関する事項 | | | 20 | |
| | 施設整備関連業務の取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・各業務の内容を十分に把握し、業務施設整備を適切かつ的確に遂行することができる取組方針が提案されているか。 ・品質確保や工程遵守のための効果的な体制や業務実施上の工夫が提案されているか。 | 4 | VII-3-1 |
| | 工程計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務開始から建設業務・工事監理業務終了まで、遅延することなく、円滑に進めることができる工程計画が提案されているか。 ・工事期間中の鹿沼公園の供用エリアを十分に確保しながら、工期内に工事を完了するための工程上の工夫が提案されているか。 ・不測の事態が生じた場合に、スケジュールを遵守するための対策が提案されているか。 | 8 | VII-3-2 ・VIII |

| 評価項目（提案項目） | | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|---------------|----------------------|---|----|---------|
| | 安全・環境・周辺地域への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事期間中の鹿沼公園利用者の安全性に配慮した工事エリアの設定、工事車両の動線計画が提案されているか。 ・ 鹿沼公園周辺の住宅や供用エリアを利用する利用者に対して、工事期間中の騒音や振動等を可能な限り抑える対策が提案されているか。 | 8 | VII-3-3 |
| 4. 開業準備に関する事項 | | | 4 | |
| | 開業準備業務の取組方針・開業準備業務計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 開業準備業務の内容を十分に把握し、業務を適切かつ的確に遂行することができる取組方針が提案されているか。 ・ 供用開始時から円滑かつ適切な維持管理業務及び運営業務を遂行するための実施体制の確立や教育訓練、各種マニュアル・規約等の作成の具体的で現実性のある実施計画が提案されているか。 ・ 多くの市民の利用に結び付く広報や情報発信に関する具体的な提案がなされているか。 ・ 本施設にふさわしい、市民の期待感を高める開業式典・イベント等の企画が提案されているか。 | 4 | VII-4-1 |
| 5. 維持管理に関する事項 | | | 32 | |
| | 維持管理業務の取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理業務の内容を十分に把握し、業務を適切かつ的確に遂行することができる取組方針及び施設全体の維持管理方針が提案されているか。 | 4 | VII-5-1 |
| | 複合施設維持管理業務計画 | | | |
| | 維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 複合施設の各維持管理業務の計画において、複合施設の機能及び性能を維持し、利用者及び本市職員が安全かつ快適に施設を利用することができる具体的で実現性のある計画・方策等が提案されているか。 | 8 | VII-5-2 |
| | 修繕・更新 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全を前提とし、要求水準を達成する状態を維持するために必要な修繕・更新の適切かつ具体的な実施計画が提案されているか。 | 4 | VII-5-3 |
| | 鹿沼公園維持管理業務計画 | | | |
| | 維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿沼公園の各維持管理業務の計画において、鹿沼公園の機能及び性能を維持し、利用者が安全かつ快適に公園を利用することができる具体的で実現性のある計画・方策等が提案されているか。 | 8 | VII-5-4 |
| | 植栽管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上公園エリアを含む鹿沼公園の植栽が健全で美しい状態で維持され、利用者も安全かつ快適に公園を利用することができる具体的で実現性のある管理の計画・方策等が提案されているか。 | 4 | VII-5-5 |
| | 修繕・更新 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全を前提とし、要求水準を達成する状態を維持するために必要な修繕・更新の適切かつ具体的な実施計画が提案されているか。 | 4 | VII-5-6 |
| 6. 運営に関する事項 | | | 64 | |
| | 運営業務の取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営業務の内容を十分に把握し、業務を適切かつ的確に遂行することができる取組方針及び施設全体の運営方針が提案されているか。 ・ 災害時にも活用されることを踏まえた運営上の工夫があるか。 | 8 | VII-6-1 |

| 評価項目（提案項目） | | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|---------------|--|--|----|---------|
| 複合施設運営業務計画 | | | | |
| 全体 | | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な利用者が集い、遊び、交流することができる複合施設運営業務の計画・方策等が提案されているか。 ・各施設の魅力を活かした運営上の工夫はあるか。 | 4 | VII-6-2 |
| 市民利用スペース運営業務 | | <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース等について、様々な利用者が気軽に集い、居心地よく滞在できるスペースとなるよう、具体的な取組や運営方策等が提案されているか。 ・市民が円滑に貸室を利用するための計画や工夫が提案されているか。 ・利用者数や稼働率を高めるための計画や工夫が提案されているか。 ・子どものためのスペースは、子どもが、安全・安心に、楽しく利用できる施設となるように、効果的な計画・取組が提案されているか。 | 12 | VII-6-3 |
| 青少年事業実施業務 | | <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全な育成に寄与する、魅力的な青少年事業・プログラムの提案がされているか。 ・青少年が、自主性や社会性を育み、地域とのつながりを実感できる「自分の居場所」と感じられるような、効果的な運営の取組が提案されているか。 ・青少年団体・青少年育成団体支援の効果的な取組が提案されているか。 | 8 | VII-6-4 |
| 施設運営業務 | | <ul style="list-style-type: none"> ・広報・情報発信業務、総務業務、その他施設運営業務について、新しい使い方や魅力の発信、快適な利用環境の提供など、効果的な取組・方策等が提案されているか。 ・イベント等企画・開催業務について、複合施設の魅力向上に資する提案がされているか。 | 8 | VII-6-5 |
| 鹿沼公園運営業務計画 | | | | |
| 全体 | | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な利用者が集い、遊び、交流することができる具体的で実現性のある鹿沼公園運営業務の計画・方策等が提案されているか。 ・各ゾーンの魅力を活かした運営上の工夫はあるか。 | 4 | VII-6-6 |
| 遊びのゾーン | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童交通公園について、遊びながら学ぶことができる効果的な運営や交通安全教育の取組が提案されているか。 ・子どもが、安全に遊ぶことができるような運営上の工夫・対策について提案されているか。 | 8 | VII-6-7 |
| 駐車場ゾーン及び臨時駐車場 | | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が駐車場を安全かつ円滑に利用できるよう具体的なで実現性のある駐車場の運営計画・方策等が提案されているか。 ・駐車場の不適正利用を排除する効果的な工夫が提案されているか。 | 4 | VII-6-8 |
| その他のゾーン | | <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートを快適に利用できるよう運営上の工夫や対策が提案されているか。 ・複合施設と公園の中間領域の効果的な活用方法や運営方法が提案されているか。 | 4 | VII-6-9 |

| 評価項目（提案項目） | | 評価の視点 | 配点 | 様式番号 |
|-----------------------|----------------------|---|-----|----------|
| | 施設運営業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報業務、総務業務について、効果的な取組・方策等が提案されているか。 ・イベント等企画・開催業務について、鹿沼公園の魅力向上に資する提案がされているか。 | 4 | VII-6-10 |
| 7. 事業期間終了時の引継ぎ等に関する事項 | | | 4 | |
| | 事業期間終了時の引継ぎ等の取組方針、計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間終了後、市が円滑に修繕及び更新等に取り組むことができるよう、適切に施設の引渡しを行うことができる取組方針、具体的で効果的な引継ぎに関する計画が提案されているか。 ・事業期間終了後、次期管理者が円滑かつ利用者の利用に支障をきたすことなく維持管理業務及び運営業務を実施することができるよう、適切に業務の引継ぎを行うことができる取組方針、具体的で効果的な引継ぎに関する計画が提案されているか。 | 4 | VII-7-1 |
| 8. 自主事業、事業者提案施設に関する事項 | | | 8 | |
| | 自主事業・事業者提案施設の取組方針、計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業は、本事業と相乗効果があり、市民サービス向上を実現することが期待される提案となっているか。 ・事業者提案施設は、本事業の魅力向上に寄与するものであり、事業者提案施設の実施期間中、安定的に運営され、市民サービス向上を実現することが期待される提案となっているか。 | 8 | VII-8-1 |
| 合 計 | | | 280 | |

(イ) 価格審査

価格審査は、入札金額（消費税及び地方消費税相当額を除く。以下同じ。）で行うものとし、以下の計算式により価格評価点を算出する。

価格評価点の配点は 120 点とし、価格点の計算にあたり、小数点以下がある場合は、第 3 位を四捨五入するものとする。

$$\text{価格評価点} = 120 \times \text{最低入札価格} / \text{評価対象入札価格}$$

7 最優秀提案の選定

定性審査による各提案の評価点に価格審査による価格点を加算したものを総合評価点とし、選定委員会は、最も総合評価点が高い者を最優秀提案者として選定する。

$$\text{総合評価点（400 点満点）} = \text{定性評価点（280 点満点）} + \text{価格評価点（120 点満点）}$$

8 落札者の決定

本市は、選定委員会による選定結果を踏まえ、最優秀提案者を落札者として決定する。ただし、最優秀提案者が複数存在する場合（総合評価点と同点の場合）は、価格評価点が最も高い者を落札者とし、価格評価点も同点の場合は、入札価格が最も低いものを落札者とする。入札価格も同額の場合は、くじにより落札者を決定する。

なお、定性評価点が 112 点未満であった場合は、落札者として選定しない。

9 その他

本市は、本事業に係る入札参加者がいない、あるいは、いずれの入札参加者も本市の財政負担額の縮減が見込めない等の理由により、本事業を PFI 事業として実施することが適当でないと判断した場合は、特定事業の選定を取り消すこととし、その旨を速やかに公表する。

上記の場合において、これまでにかかった費用は、本市及び入札参加者が各自負担するものとする。